

日本版SOX法(内部統制)に向けた基本計画策定サービス

J-SOXの実務基準が2007年2月に発表され、内部統制の対応は上場企業にとっていよいよ待ったなしとなってきました。しかし、これらの対応作業は、ほとんどの企業にとって初のチャレンジであり、各種のセミナーや書籍で勉強してもいまひとつ実務のイメージがわからないことが多いのではないのでしょうか。

内部統制というまず、文書化の作業を真っ先に思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか？業務フローチャート、業務記述書、そしてリスク・コントロール・マトリックスの所謂3点セットを準備することは確かに重要なポイントです。しかし、何よりもまず、内部統制の本質を理解し、最小のコストで最大の利益を生み出す対応方法をしっかりと計画することが先決となってきます。

その為には、内部統制というフレームワークに対しての現状の課題を認識し、ゴールイメージとしての対応策を全社共通認識のもとで作り上げることが重要になります。

弊社の持つ課題解決と計画作りの手法である「BPS(Business Planning Session)」を、日本版の内部統制に向けた基本計画作りに活用頂けるようにカスタマイズし、新たなサービスとして提供を始めました。(サービス名称: BPS for J-SOX)

【対象となるユーザー】

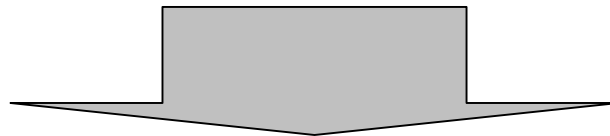
- これから内部統制対応に着手しようと考えている企業
- 自社の内部統制ソリューションやコンサルティング・サービスを提供しているベンダーやコンサルティング会社

【何故、内部統制対応にBPSなのか？】

内部統制コンサルタントや一部の上位マネージメントが策定した「内部統制システム」で全社が動くか？

日常の業務の目線に立った「内部統制システム」でなくて有効的かつ効率的な業務遂行ができるか？

自社の経営環境や業務環境を熟知した者でなくて、自分達の会社の「内部統制システム」が作れるのか？



- 最初の一歩となる「計画作り」が礎となります。
- 内部統制の「目標設定」、「現状分析に基づいた課題認識」、「対応策としての内部統制のゴール・イメージ策定」の全社での共有が重要となってきます。
- それから詳細導入活動へ展開していきます。

【BPSのフレームワークと内部統制基本計画作り】

目標(セッション・テーマ)の設定

現状認識に基づいた課題の発見・定義

対応策の策定

活動計画の立案

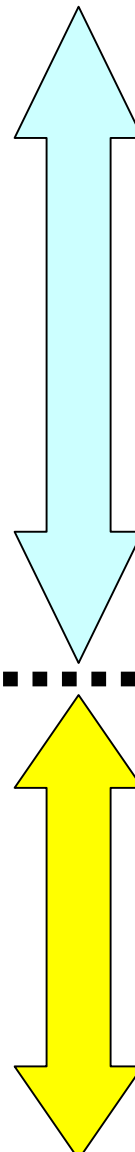
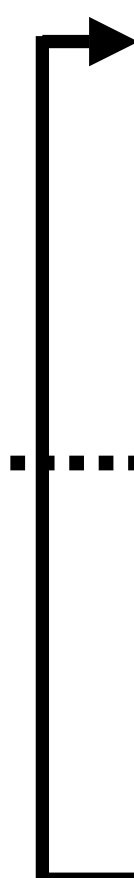
内部統制システムの適用・導入

導入後の評価・改善

【今回の範囲】

BPSのフレームワークに基づいて、内部統制を自社に導入する際の解決課題を明らかにし、対応策としての導入後のゴール・イメージを参加者の合意のもとに策定し、具体的な導入活動への橋渡しをします。

具体的な導入活動をスケジュール化し、それに基づいて適用・導入活動を実施する。導入後の実運用において、点検・評価を通じて改善のPDCAを廻していきます。



【サービスの概要と進め方】

説明資料 (ここをクリック)

